

令和2年度 行政座談会 質疑記録

※各会場で出された質疑をまとめています。

※今回の行政座談会資料に関連のない内容については、記載していません。

Q1	外国人技能実習生が増えている。10年後のグリーンカード（永住権）取得まで見通した政策を。その時に向けて外国語学習に力を入れ国際化に対応した人材育成を目指してはどうか。
A1	生涯学習の中で外国人を受け入れている企業・事業者等と連携を進め、また、子ども達と外国人技能実習生との交流の場を設けるなど、多様性あふれる国際社会に適応できる人材を育成していきたい。
Q2	移住施策として空家の活用は。
A2	平成27年度に空家調査を実施した。相続や片付けの問題でなかなか活用が進んでいない。片付けやリフォーム、家賃の助成などの制度を設けている。所有者の活用意向調査などを進めている。
Q3	かわみなみ PLATZ（ぷらっつ）の経営状況は。また、今後の活用の方針は。テストキッチンが活用されているか。
A3	今年の4月オープン当初は、新型コロナの影響により高速道路側からの利用を制限したが、10月、11月にかけて、当初の月間目標売上を達成できた。12月では、再度、流行の兆しがあり不明だが、コロナ禍が落ち着けば、当初の計画通り売り上げを達成していけると考えている。生鮮野菜などが売れる道の駅と違い加工品が好まれる高速道路の店舗であることを生かし、加工品の販売に力を入れていきたい。テストキッチンについては、現在のところ利用がない。施設が狭く、コロナの状況もあり、使用を見合わせた団体もあるが、落ち着けば、自治公民館等にも利用いただければと考えている。
Q4	なぜ中学校統合が必要なのか。
A4	令和11年には国光原中学校において、1学年1クラスの学年が2学年になる予定。ここまで生徒数、学級数が減少すると、部活の選択肢が減るだけでなく、専科外科目を教員が教えなければならない。過去の座談会やアンケートの結果では、多くの町民が子どもの学力向上を望んでいる。また、平成28年にPTAを対象に行ったアンケートでは、学校統合に期待することとして、「部活動の選択肢が増える」が最多意見であった。このような、学力向上

	<p>と多様な部活動環境を提供するために、中学校の統合することになった。</p> <p><参考>平成28年11月 未就学児、小中学生の保護者を対象としたアンケート上位5位</p> <table> <tr> <td>1位</td> <td>部活動・クラブ活動の選択肢が増える。</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>集団活動の中で切磋琢磨し、社会性や協調性を育める。</td> <td>45.7%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>施設等の教育環境が良くなる。</td> <td>39.7%</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>運動会や学校行事が盛り上がり、学校全体に活気が出る。</td> <td>32.2%</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>教職員が増え、多面的な指導を受けることができる。</td> <td>29.8%</td> </tr> </table>	1位	部活動・クラブ活動の選択肢が増える。	53%	2位	集団活動の中で切磋琢磨し、社会性や協調性を育める。	45.7%	3位	施設等の教育環境が良くなる。	39.7%	4位	運動会や学校行事が盛り上がり、学校全体に活気が出る。	32.2%	5位	教職員が増え、多面的な指導を受けることができる。	29.8%
1位	部活動・クラブ活動の選択肢が増える。	53%														
2位	集団活動の中で切磋琢磨し、社会性や協調性を育める。	45.7%														
3位	施設等の教育環境が良くなる。	39.7%														
4位	運動会や学校行事が盛り上がり、学校全体に活気が出る。	32.2%														
5位	教職員が増え、多面的な指導を受けることができる。	29.8%														
Q5	新しい中学校の教育方針は。															
A5	<p>魅力ある学校にするために「夢に挑み、学び続ける学校」を掲げ、学力向上を1番に掲げている。GIGAスクールや1人1台のタブレット整備など、時代に対応する学校を目指したい。大学や企業との連携を進め学びの保証を行っていく。</p> <p>未就学児、小中学生の保護者は、部活の選択肢が増えることに期待を寄せている。「仲間とともに切磋琢磨する学校」を2番目に掲げ、多様な部活動ができる学校を目指したい。</p> <p>3番目に「地域と繋がり、地域と共に歩む学校」を目指す。キャリア教育の一環として、地域とともに歩いていく学校を目指す。</p> <p>子ども達に魅力ある教育環境を整えていくのが、わたしたちの責務だと考えている。</p>															
Q6	中学校は中心部に決まったのか。															
A6	決定ではない。今後も、座談会等で説明していくとともに意見を頂きながら進めていく。															
Q7	運動公園、文化ホール近隣に中学校ができた場合、一般市民と学校の使用すみ分けは。															
A7	<p>中学校には200mトラックを整備する予定。ただし、運動公園施設が空いていれば、活用することも考えたい。</p> <p>文化ホールについても空いていれば行事等で活用したい。また、演劇部など多様な部活動ができる可能性もある。</p>															
Q8	コロナ禍にあって、国の予算もひっ迫する中、国の補助金は確約されているのか。															
A8	確かに、国の予算も大変な状況。そのためにも早めに国との協議を進めていく必要がある。															

Q9	今回提示された中心部の場合、商店街や交番も近くなることで、安全、安心面では、向上するのではないかと考える。通学等での安全面での考えは。
A9	スクールバスの検討も必要になってくる。具体的に場所が決まれば、しっかり対応していく。
Q10	プールなど高齢者の運動できる移設を作る予定はないか。
A11	今回提示した場所に中学校が来れば、体育館の整備も必要だと考える。体育館もプールも町民と中学校が一緒に使っていくような方法を模索していきたい。